

## 液化CO<sub>2</sub>大量貯蔵システムに関する技術開発の受託について

当社は水素ステーション建設や地熱発電関連設備建設など、脱炭素社会に向けたプロジェクトに参画してまいりました。また、LNGタンクをはじめとした低温タンクの豊富な建設実績を有しています。

こうした当社の取り組みが評価され、今般、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「CCUS 研究開発・実証関連事業／苫小牧における CCUS 大規模実証試験／CO<sub>2</sub> 輸送に関する実証試験」において、「液化CO<sub>2</sub>大量貯蔵システムに関する技術開発」を日本CCS調査株式会社（以下「JCCS」）より受託いたしました。

本実証プロジェクトでは、2030年頃のCCUS社会実装に向け、年間100万トン規模のCO<sub>2</sub>の供給地点から利用・貯留地点への長距離・大量輸送と低コスト化に繋がる輸送技術の研究開発を行うとともに、実証試験及び関連調査を通じ、液化CO<sub>2</sub>の船舶輸送技術の確立を目指します。

当社は、本実証プロジェクトの内、CO<sub>2</sub>大量輸送実現の鍵となる、液化CO<sub>2</sub>を低温・低圧条件で貯蔵するための「液化CO<sub>2</sub>貯蔵システム（陸上設備）」の技術確立を目指します。

当社は、今後とも、脱炭素社会を実現するための技術開発に取り組むことで、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

【参考：本実証プロジェクトのイメージ】

